

第74号 「非日常」

令和2年5月25日

新型コロナウイルスの影響により臨時休業していた学校も、ようやく再開しました。改めて、日頃は気付くことのなかった日常の有り難さを感じています。しかし、これまで日常だと思っていた生活には、まだほど遠い状況です。新しい生活様式という言葉が使われますが、この「非日常」の状態から本当の意味での「日常」を取り戻す日が早く来ることを願います。

辞書によると、「非日常」とは「日常的ではないこと。特に通常の日常生活では体験できないような場面や状況または経験などのことを幅広く指す言い回し。」と記してあります。

今回の緊急非常事態も含め、まったく予想もしなかった災害や事故などが自分の身に降りかかり、それまでの日常とは異なる生活を強いられることがあります。これは、自分ではどうすることもできない「不可抗力の非日常」です。

しかし、我々はこのような非常時に遭遇しない限り、日常の生活だけでは飽き足らず、自ら非日常を求めてしまいます。

たとえば、時間やお金をかけて非日常的な時間や空間に自分を置くことで楽しむ非日常があります。海外旅行に行く、温泉宿に泊まる、少し贅沢な食事をする、コンサートを鑑賞するなどが考えられます。これらは、あえて普段とは違う環境を自分で設定することによって作り出される「スペシャルな非日常」です。

また、普段の生活の中にちょっとしたアイデアで生まれる非日常もあります。いつもと違う道を通る、早起きをして散歩する、入浴剤を変える、コーヒー豆を変えるなど、本当にちょっとした変化を自分で楽しむ「プチ非日常」です。

個人的な話になりますが、私の日常自体、予測不能なことが起こる毎日です。なかなか予定通りには進みませんし、今まで経験してこなかったことに対応を迫られることもあります。もちろんそれが仕事ではありますが、そんな時に自分で計画して実行するスペシャルな非日常を味わいたいと思ってしまいます。しかし、計画さえできないのが現状です。

非常時には日常が恋しくなり、そうでない場合は非日常を求めてしまう。人間って不思議で欲深い生き物です。ただ、自分の人生を豊かにするための非日常を求めることは悪いことではありませんし、そのことで自分の心の均衡を保とうとしているのかもしれない。

日々の当たり前前に感謝しながら、何が「日常」で何が「非日常」なのかをしっかりと意識して生活しなければと、改めて感じています。